

奈良市民憲章

奈良は日本のふるさと。美しい自然とすぐれた文化遺産を守り、古都に住むものによきわしい自覚と誇りに生きましよう。

奈良は未来をひらくまち。青少年は健康で、はつらつと、正しく強い人間にならましよう。

奈良は善意のまち。みんなのしあわせのために、おたがいに助けあいましよう。

奈良は清潔で平和なまち。旅行者にはあたたかく親切に接しましよう。

奈良はのびゆくまち。市民の創意で、伝統と調和のとれた新しい住みよいまちづくりをしましよう。

# 奈良市民だより

No. 612

市民のうごき

7月1日現在 (前月比増)

人口	337,671人 (478人)
男	162,997 (210)
女	174,674 (268)
世帯数	110,438 (243)



高齢者の介護法を学ぶ婦人たち (平城園で)



市ボランティア事業推進委員会合同会議



視力障害者用の「さわる絵本」づくりに励むボランティア

## 高齢化社会に備え進むボランティア事業

### 基金に寄せられた市民の善意一千七十七万円

国の指定を受け、市ボランティア事業がスタートしたのは去年の四月。ボランティアの開拓・育成にとどまらず、「自立・連帯」の精神の上に立ち、すべての市民がお互いに助け合えるまちづくりをめ



ざしての船出でした。同年五月二十九日には西田市長ら十五人の委員で構成されたボランティア事業推進協議会では、

①市民啓発推進事業②養成研修事業③登録あつ旋事業

④ボランティアの組織化事業⑤活動基盤づくり事業

を骨子とし、ボランティア事業を展開していくことが決められました。

そしてこの一年間、この基本計画に基づきさまざまな事業が行われました。ボランティア大会の開催、福祉についての意識調査の実施、ボランティアを対象とした研修会の開催、ボランティア情報紙「ほらんとびあ」の発行、市長とボランティアの座談会などがその一部です。

中でもユニークな試みとして、二人暮らしの老人や、身体障害者個人からの依頼に応じて市社会福祉協議会がコーディネート(仲介)し、ボランティアをあっ旋するという事業があります。これは例えば「入

院中のおばあさん(一人暮らし世帯)の洗濯・買い物などを「ボランティア」にも多くの市民話し相手をする」といったボランティア活動を行うもので、窮状にある人の救いを求める声にこたえるものです。

サービスを受ける側からも喜びの声があがっており、市社会福祉協議会では、将来、地区の社会福祉協議会を中心とした福祉ネットワークづくりを進め、こういったニーズにこたえていく方針です。ボラ

ボランティア事業をさらに発展させるため、今年六月九日に部門別推進委員会が新たに設置されました。今回設置されたのは

### 事業発展に部門別推進委員会を設置

①市民啓発②養成研修③ボ

ランティア活動開発④組織化⑤活動基盤整備

の各推進委員会で、委員は各十人で、いずれも官民混成となっております。

行政だけ、ボランティアだけでは、という取り組みでは、もはや対応できない時代がやって来ている。そして、そのニーズはさらに増大、多様化していくことが明々白々です。これにこたえるには、行政と住民が力を合わせ、互いの能力をフルに発揮できるようなネットワーク、システムづくりが必要なのです。委員会の編成にもそれが反映されているわけでは

各委員会は、「事業推進上のアイデアを出す」、「資源(人的・物的)の動員などについて検討し、事業の具体的な実施方針づくりを行う」とともに、けん引車としての役割を果たす。「一人でも多くの市民に参加してもらえよう」という具体的な方策を検討、立案する」などがその任務です。これが、これには市民の皆さん一人ひとりの参加と協力が必要

昭和六十一年八月に厚生省人口問題研究所が発表したデータによれば、現在、社会の中心として働いている人たちが老齢になる三十五年後には、六十五歳以上が人口四人に一人の割合を占める高齢社会になると予想されています。

ボランティア事業はそういう問題に対する現時点での答えの一つでもあります。やがて来る社会を、自分も含めてだれもが安心して暮らせる社会とするために、現在わたしたち一人ひとりが考え、取り組んでいく意味は大変大きいものなのです。

### 声・こえ・こい・VOICE



松本 昌子さん 佐紀町・45歳

老人介護ボランティア養成講座に参加している松本さん。

「この講座に参加したの

は、私にも高齢の両親がいるからで、お年寄りの心理や生理について知っておこうと思ったんです。ボランティアの社会に対する役割やその大切さを勉強していくにつれ、私にできることがあればお役に立ちたいと思うようになってきました。講座が終わればボランティアとして活動したいと弾んでいます」



柴田 徹さん 市歯科医師会会長 57歳

推進協議会委員で、養成研修推進委員でもある柴田さん。

「困っている人を社会から隔離して守るというのではなく、社会的自立の手助けをするというのがボランティアの本来の姿ですね。またこれからは必要にこたえ得るボランティア養成も大切だと思います。この事業も、いわばゴールのないものだから、段階的に慎重に進めていくことが必要でしょう。歯科医師会でも高齢者を視野に入れた体制づくりを考えています」



岡 英子さん 大宮町4丁目・57歳

ボランティア歴十五年の岡さん。

「ボランティア活動とは、その人の生き方、心の持ち方によるものだと思います。何か特別のことをしているという意識はなくて、あたりまえのことをしているんだと……。しかし、それは実際の活動を通じてしか自分のものになっていかないのでは? 自分の身の回りを見て自分のできることから始める。そして大切なのは続けていくことですね。ボランティア事業も、これからは正念場。福祉のネットワークづくりに期待します」



松本 謙治さん 学園朝日町2丁目・66歳

現在、ボランティアのサービスを受けている松本さん。

「買い物や日常の用事などボランティアの方にお願いしていただきます。一人暮らしで呼吸器障害もあって、ほんとに孤独で不安なんです。ボランティアの方の顔をみるとほっとします。その人間的な温かさに触れると本当に心がなごむんですよ。弱い人の味方になってくださるボランティアの方は、これからの時代、ますます重要な存在にならると思うんですよ」



# 巡り来る“原爆の日”

## 世界から核兵器をなくしよう

### “平和の鐘”の音のもと 緑の地球を守りましょう

世界の恒久平和は、人類共通の願いです。私たち日本国民は、世界で唯一の核被爆国民として核戦争の悲惨さを世界の人々に訴え、この緑の地球を次代に引き継がなければなりません。とくに私たち奈良市民は、“国のまほろば”と称されるこの美しい自然と優れた文化遺産を守り、後世に伝える責務があります。

奈良市議会では、昭和六十年十二月二十三日、「非核三原則の堅持」「あらゆる核兵器の全面禁止と廃絶」を求め、全世界の恒久平和の実現に向け努力することを内外に表明する「非核平和都市宣言」を決議しました。

市でも、昨年からの宣言を踏まえて市議会と連携し、八月を中心に各種啓発事業に取り組みんでいます。今年も、この宣言の精神を尊重して次のような取り組みを行います。

【平和の鐘をつく】広島・長崎に原爆が投下された次の時刻に、世界平和を祈念し、市庁舎塔屋の鐘をつきます。また、市内約二百の寺院、教会などに同時に平和の鐘をつき鳴らしてもらおうよう要請します。

【平和を祈念しての黙とう】八月六日（広島原爆投下の日）午前八時十五分から八月九日（長崎原爆投下の日）午前十一時二分から

【平和を祈念しての黙とう】前記原爆投下の時刻につき鳴らされる平和の鐘を合図に、市役所では全員が一分間の黙とうをしますが、市内の全職場、全家庭でもいっせいに黙とうしてもらおうよう呼びかけます。

【被爆記録写真展】広島市提供の被爆記録写真パネルなどをつぎの通り展示します。

【被爆記録写真展】八月十日市役所支庁ホール八月十日

## 仏語に長じた両主婦

### 八月に国際夏季大学へ

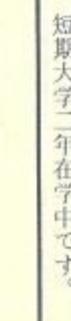
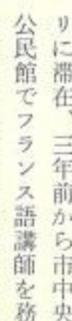
昨年十一月十四日に奈良市と姉妹都市縁組をしたフランスの古都ベルサイユ市からの招きにより、初の友好交流生として市から高橋節子さん（42歳・右京五丁目）と根来良子さん（48歳・朱雀二丁目）の主婦二人がベルサイユ市へ留学することになりました。

同日で毎夏開かれていた「ベルサイユ・パリ国際夏季大学（第九回）」に入学するものです。学校は市内にあるパリ第十大学で、夏季大学はベ市市長の主宰で八月二日から二十一日まで開講します。講座は、必修科目として「フランスの現状と現代生活」

を、また、選択科目として「政治システム・経済・教育制度・料理学・建築様式・フランス語の教え方」などを学ぶほか、演劇やシャンソンなどを鑑賞します。この夏季大学には、諸外国からフランス語に堪能な人たちが参加します。今年には米国、豪州、西独など約二十カ国からの申し込みがあるといわれ、ベルサイユ市との友好交流はもちろ

んと、参加した諸外国の人たちとの交流も深められ、国際的視野を広められるものと期待されます。

高橋さんは大阪外大仏語科卒で約五年間パリに滞在、三年前から市中央公民館でフランス語講師を務めています。また、根来さんは大阪・京都日仏学館で六年間学び、実用フランス語検定三級で現在県立短期大学二年在学中です。



この空の青さがボクは恐いんだ！  
一九八二年制作、原爆記録映画。「十フット運動」で制作が可能となった三部作のうち第一作。米国から入手したフィルムと、それに合わせて取材・ロケしたものが半々に編集されています。

△この子を残して▽  
一九八三年制作、松竹・ホリ企画提携作品。長崎の原爆投下で妻を失ない、自らも白血病で命を縮めながらも、数知れぬ被爆者救済のため自己犠牲的に医療活動に献身する。その死ぬまでの手記は戦

後ベストセラーになる。こうして、実在の放射線研究家永井隆博士の生涯を通して、極限状況にあっても、人間としての尊厳を守り抜いた崇高な姿と原爆を浴びた日本人の心を木下恵介監督が平和への祈りをこめて描いた作品。出演

は加藤剛、十朱幸代、淡島千景ほか。二時間八分。

▽観覧無料。希望者は市広報公聴課（☎④一〇一一番）へ電話で申し込んでください。

六月二十九日開会した六月定例市議会は、既報の報告八件と議案十九件並びに追加提案された農業委員会の委員の推薦をすべて原案通り可決した。同日午後三時、会期を三日間繰り上げて七月三日に閉会しました。

農業委員五氏を推薦 追加提案された農業委員会の委員の推薦については、議会推薦農業委員の任期が七月十九日をもって満了するのに伴い、同委員五氏の推薦を決定したものです。

六月二十九日開会した六月定例市議会は、既報の報告八件と議案十九件並びに追加提案された農業委員会の委員の推薦をすべて原案通り可決した。同日午後三時、会期を三日間繰り上げて七月三日に閉会しました。

### 口座振替

国民健康保険料  
国民年金保険料  
納入に便利

- 銀行▽中京相互銀行▽奈良信用金庫▽大和信用金庫▽商工組合中央金庫▽奈良市農業協同組合▽奈良市都野農業協同組合▽奈良市田原農業協同組合▽奈良市東山農業協同組合▽奈良市南農業協同組合▽奈良市北農業協同組合▽奈良市西農業協同組合▽奈良市東山農業協同組合▽奈良市南農業協同組合▽奈良市北農業協同組合▽奈良市西農業協同組合

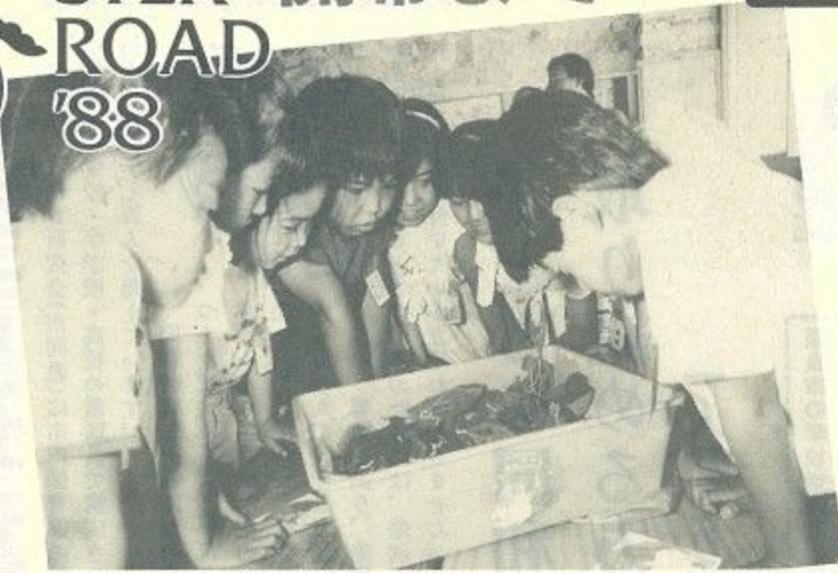
- ### 新自治会長
- 【町内自治会長】あやめ池南一丁目第三〇中田昭一▽同第四〇石松鐵男▽あやめ池南三丁目第一〇安岡晴男▽同四丁目第一〇岸村昭典▽あやめ池南五丁目第一〇中島貫一▽同第二〇福本昌弘▽あやめ池南八丁目〇中村弘▽あやめ池南八丁目〇中村弘▽あやめ池南八丁目〇中村弘▽あやめ池南八丁目〇中村弘

- で、D級（一般・大学生と高専四年生以上）▽作品の大きさⅡA・B級は四ツ切（39×54cm）以下、C・D級は半切（54×78cm）または四ツ切材料▽クレヨン、クレパス、水彩絵具、ポスターカラーなど▽締め切り▽県国際課内の協会本部（登大路町、☎②一〇一）へ八月二十二日までに必着▽その他▽作品の裏に住所、氏名、年齢、職業（学校名・学年）を明記。入賞者には九月中旬に通知。

# SILK ROAD '88

開幕まであと 284日

## ひとりひとりの 夢織るシルクロード こどもたちの手づくりメッセージ



蚕と初対面。瞳を輝かせ飼育箱の中をのぞき込む子どもたち



待ちに待った蚕がやって来た (都跡小で)



まゆこちゃん

みんなで育てました  
大きなまゆに

シルク博の一大イベント「ひとりひとりの夢織るシルクロード」こどもたちの手づくりメッセージが、いよいよスタートしました。このイベントは、子どもたちや県民が自ら蚕を育て、シルクを織り、そしてデザインした記念の布をシルクロード諸国の人々に送り届けるという心と心の絆(きずな)を大切にした手づくりのイベントです。その第一歩ともいえるべき蚕の飼育が、県下百九十の小学校で進んでいます。学校に届けられた時にはわずかに二センチ足らずだった蚕も、すっかり成長し、早いところではもうまゆつくりに入っています。日に日に変身する蚕の成長ぶりに子どもたちは瞳を輝かせその世話に忙がしい。

### 蚕の飼育に心をくだく

これに先立って、県庁玄関前で午前十時半から蚕の「出発式」がおこなわれ、蚕を乗せた小型トラック教台が各学校へ出発。  
都跡小学校では、到着を待ちわびた子どもたちが玄関までお出迎え。さっそく受け取った蚕と教室で初対面。「ワ  
蚕の成長は早く、子どもたちが始めて目にしてから二週間約三倍、六センチにも成長しました。  
子どもたちは、当番を決めて毎日交代で朝夕のエサやふんの世話をし、そしていろいろのな人がそれを応援しました。このイベントを企画・運営してくれる人、蚕や桑の葉をくれた人、そしてそれらへ学校へ運んでくれた人——。  
こうしてみんなの手で育てられた蚕は、7月中旬ごろにはもうりっぱなまゆをつくっているのです。



「弟みたいにかわいい」と楽しそうに蚕の世話をする子どもたち (大宮小で)

### ☆☆☆

「夢織るシルクロード」の企画・運営を担当しているのは(社)奈良まちづくりセンターの人たち。  
そしてこのイベントの世話役竹本万里子さん(26歳)。「県民のアイデアで、こんな大きなイベントが展開できるのはとてもうれしいことです。シルク博は文化博といわ



れています。文化というのは、地域に住む人たちによって培われるものだと思うんです。だからこのイベントを通して、わたしたちの街に何か新しい文化が芽生えるきっかけになるような、そんなイベントにしたいですね。  
ランドセルに、まゆこちゃん  
のシルクをはってある子を見かけると、このイベントも

マスコットキャラクター

愛称が  
きまったよ

ナナちゃんてーす  
ララちゃんてーす

これから  
もよろしく  
どうぞ

この愛称は、シルク博協会が一般募集し、全国各地から寄せられた四九三四点の中から

大きく盛りあがって来たなっど大切に育ててくれてうれし  
喜んでます

### ☆☆☆

三万匹の蚕を県内の小学校百九十校に送ってくれたのは県養蚕組合連合会の人たち。二十四日の発送式に先だっ

て榛原町総合体育館では、早朝五時から連合会の人たちによって、各学校へ蚕の配送作業(写真)が行われました。  
卵をふ化させ、子どもたちの手に届くまでの十一日間、蚕を育ててくれた山田芳樹さん(59歳)



「蚕は見た目には悪いけれど、きつと子どもたちはいい友だちになったと思ってい

### ☆☆☆

桑の葉を送ってくれたのは県内の養蚕家の人たち。鹿野園町の大西忠信さん(77歳)もそのひとり。蚕がりっぱなまゆを作ってくれるようにと、家の桑畑の手入れに余念



「昔は千本もあった桑の木も、今ではえろろ減ってしま

いましてね。小学生が蚕を育てると聞いて、こりや協力せねばと思ひ、急いで畑の手入れをしたんです。蚕は実にデリケートなものでね。ぬれては食べないんです。いい葉っぱをやるよ、よるこんでバリバリと音をたてて食べるんですよ。今の子、蚕を見たこと

### ☆☆☆

県内の養蚕家から桑の葉を学校に届けてくれたのは日通の八木さん(45歳)。  
「私も小学生の時、蚕を育てたことがあるんです。桑の葉を一所懸命に食べてひたむきに生きる蚕の姿がとても印象的で、子どもころにも生命のすこさを感じましたね。だから子どもたちにも、蚕を育て、その成長を見ながら、何か感じ取ってくれるも



のがあったと思っています。そのお手伝いとして、子どもたちに桑の葉を届けてやれたのがとてもうれしいですね」

# 教育現場で「いじめ」取り除く

奈良市同和教育研究会(市同教)は市内保育園の保母、幼稚園・小学校・中学校・高校の教職員で構成され、会員は現在二千七百人を超えています。



同和教育こそみんなの幸せをつくりだすための教育なので、みんながかけがえない生涯を「幸せに生きる」社会とは、すべての人が人として互いに認めあい、尊重しあう、差別のない明るい世の中のことです。そのためには、差別をみつけ、それを取り除いていかなければなりません。

## 子どもにも同和問題と 取り組める力を培う

### 一人ひとりが幸福であるために

奈良市の学校や園での同和教育  
——差別をしない・させない・許さない子——

私たち大人は、日々の生活の中で、子どもの心や姿をどこまでしっかり見ることができているか疑問です。

つい忙しさにまぎれて子どもの言葉を無視したり、一方的に叱りつけたりします。

何よりも大切なことは、幼い子どもたちが胸の中でつぶやいている、そのつぶやきを聞きとる力がなければなりません。

言葉にならない言葉を大切に、子どもと共に感動し、喜び、悲しみあえる感性豊かな大人でありたいものです。

このことは、子どもの人格を認めることであり、人間を大切にすることを培うためにも大切なことです。

保育園や幼稚園では、毎日

市同教は、学級や学校の中で疎外された立場において、被差別の子どもたち、被差別の子どもたちに視点をあて、すべての子どもが大切にされる取り組みを進めています。

私たちの身近には、部落差別をはじめ障害者差別、在日韓国・朝鮮人差別など、もろもろの不合理・矛盾が根強く生き続けています。子どもたちの教育を受ける権利を最大限保障し、差別を許さない、平和を愛する子どもを育成することが明るい差別のない奈良市をつくりあげるうえでぜひ必要なことです。(奈良市同和教育研究会)

題として問いなおすとともに、学級や学校のなかま集団に対して、人間としての生き方を追らないかぎり、いじめられ続ける子どもへの叫びは止まないでしょう。

「先生、このごろ同和教育とか仲間づくりとかよく聞きますが、子どもの学力のほうに心配です」と、親から意見が出されます。

人は、一人で生きているのではなく、互いに支え合ひ、高め合ひて生きていかなければお互いの幸福はつかめません。とくに子どもたちは、学歴社会と言われる風潮の中で、強く明るく支え合ひて生きていけるように、いま、学校でその基礎を学習し

あるいは、はやしたてながら眺めている当事者以外の多くの子どもたちが存在しています。「いじめ」の側は、何らかの抑圧の重みにたえかね、そのはげ口を弱い立場・被差別の立場の子へと向け、「いじめられる」側は、その痛みと傷を訴えています。教師や親がそのことに気づき、徹底していじめられている子に寄りそい、「いじめ」の問題を集団づくり・仲間づくりの問



市同和教育研究会大会

## パネル展

### 差別の姿を 強く訴える

「差別をなくす強調月間」にあたり、市では「差別をなくすパネル展」を開いています。このパネル展は、「先進国」「経済大国」日本といわれる中で、今も厳然と残る部落差別の現実を一人でも多くの人に知ってもらい、差別が人間の命を蹂躪(じゅうりん)し、人間愛を引き裂くものであることを、互いに考えるきっかけにしておらうと開いているものです。



真剣な表情で展示のパネルを見る人たち

七月一日から十五日までは市役所支関ホールで開き、市役所を訪れた人たちが真剣なまなざしでパネルに見入っていました。

このパネル展はひき続き西部公民館(学園北二丁目)十六日(二十三日)十四日(三十一日)休館です。

さらに総仕上げとして、義務教育を終えるまでに、すべての子どもに対して、同和問題を正しく理解させ、同和問題を自分の課題として、その解決に取り組んでいく力を育てるのです。子どもたちの「確かな学力」は、同和問題を正確に学びとり、「厳しい眼」は、それを社会の矛盾として見抜き、「豊かな心」は、その非人間性に憤りを覚え、自分の課題として取り組んでいく力となります。

このようにして同和教育は特別な教育ではなく、まさに教育そのものとして、すべての子どもに教育の機会が与えられます。

「差別をなくす強調月間」にあたり、市では「差別をなくすパネル展」を開いています。このパネル展は、「先進国」「経済大国」日本といわれる中で、今も厳然と残る部落差別の現実を一人でも多くの人に知ってもらい、差別が人間の命を蹂躪(じゅうりん)し、人間愛を引き裂くものであることを、互いに考えるきっかけにしておらうと開いているものです。

同和教育は一人ひとりの子どもを大切に、人権の尊重をしっかりと身につけさせるといふ教育の目的そのものを忠実に果たしていることと、特別な教育ではないのです。



# 市民相談

= 8月 =

## 市政相談

市役所市民相談室＝平日午前9時～午後4時。土曜日は正午まで。

## 法律相談

市役所市民相談室＝毎週月曜日午後1時～4時。担当弁護士(敬称略)  
3日 中村 悟 10日 川崎 祥記  
17日 坪田 康男 24日 田中 義雄  
31日 相良 博美  
電話予約が必要。相談日1週間前の月曜日から金曜日までに市広報公聴課(☎1111)へ。  
裁判所内弁護士控室(登大路町)＝毎週火・木曜日午後1時～3時。

## 行政相談

中央公民館＝毎月第2・第4火曜日午後1時～4時、3階相談室で。  
西部公民館＝毎月第1・第3火曜日午後1時～4時(☎3978番)

## 財務・会計相談

市役所市民相談室＝毎月第1・第3土曜日午前9時～正午。

## 人権相談

市役所市民相談室＝毎週金曜日午前9時～午後4時。担当相談員は人権擁護委員。

## 年金相談

厚生・国民年金の相談  
西部公民館＝毎月第3月曜日午前10時～午後3時。  
国民年金課＝毎月第1月曜日午前10時～午後3時。

## 心配ごと相談

市役所市民相談室＝毎週金曜日以外の平日午前9時～午後4時。土曜日は正午まで。あらゆる心配ごとの相談。

## 消費生活相談

市役所市民相談室・西部公民館＝毎週火・木曜日午前10時～午後4時。

## 家庭児童・母子相談

市役所市民相談室＝毎週金曜日午前9時～午後4時。  
児童福祉課＝平日午前9時～午後5時。土曜日は正午まで。

## 戦没者遺族相談

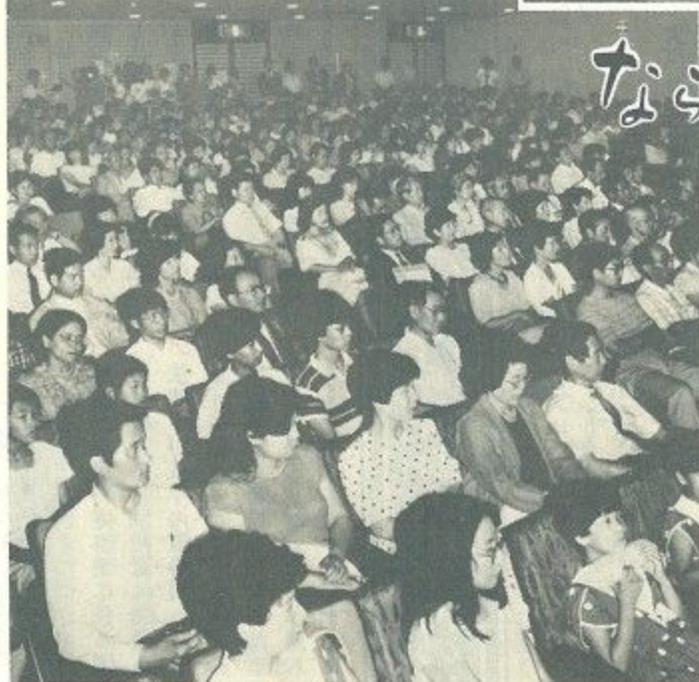
厚生課＝毎月第1金曜日午前9時～午後4時。遺族年金などの相談。

## 高齢者職業相談

市役所高齢者職業相談室＝平日午前8時半～午後5時15分。土曜日は12時半まで。対象は55～65歳前後の人。

## 中小企業相談

商工課＝中小企業診断士が相談に応じます。相談希望の方は電話かきで商工課へ申し込んで下さい。相談日を通知します。



# ならチェンバー・アンサンブル

## 好評裡に初回演奏会

### 生まれたばかりの「市の室内合奏団」に盛り上げる拍手

端麗なモーツァルトの旋律、典雅なバロックの響き  
七月四日夜、市史跡文化センターに集まった市民八百五十人は、自分たちのまににできた室内合奏団の演奏に酔いました。  
全国でも珍しいこの室内合奏団「ならチェンバーアンサンブル」の第一回演奏会には定員を上回る申し込みがあり、担当の市文化課もうれしい悲鳴。この日も、開演一時間前から熱心な聴衆が会場前に長蛇の列を作りました。  
同団の団員は市内をはじめ関西の音楽家二十五人で、最初の演奏会には十一人



## いんたびゆう

今回の演奏会で第一バイオリンを務めた岩谷悠子さんに、演奏会終了後、お聞きしました。  
「今夜のお客さまがとても素晴らしい。お客さまに支

が参加、ゲストに迎えた指揮の牧村邦彦さん(関西二期会副指揮)、フルートの持田洋さん(大阪芸術大学講師)とともに魅惑的な「音楽の夢」を紡ぎました。  
この夜演奏されたのは、いずれもポピュラーで耳なじみのあるものばかり。一曲目はモーツァルトのセレナーデ「アイネ・クライネ・ナハトムジーク」、メロディックで流麗な佳曲が観客の心をふるわせます。続く第二曲はバロック音楽を代表するヴィバルディの「四季」から「春」と「夏」、バツハの管弦楽組曲第二番ロ短調。子どもから老年寄りまで客席の人々の顔に柔らかな微笑が浮かびます。そして演奏終了、割れるような拍手。  
アンコールです。曲はグルックのオペラ「オルフェオとエウリディーチェ」から「精霊の踊り」、続いて弦楽器の弦を指で弾(はじ)くピチカー

ト奏法でルロイ・アンダーソンの「プリンク・ブレンク・ブランク」。ユーモラスではずむような楽しいこの曲は、この日の観客たちの心を映したかのようにでした。  
あつという間の二時間、家路につく人々の顔はいずれも満足そう。「また来ようね」と父親に話しかける子も。そんな中のおひとり、赤南町の石阪潤さん(20歳)「写真バロック音楽が好きで、音楽大学でフルートを勉強中という強中という石阪さんは「自分の住むまちにこんな合奏団ができてとてもうれしです。これからも、今日のようなみんなが楽しめるコンサートを定期的に開いていただきたいですね。ほんとは今日こへ来るまで、どれだけの人から来られるかなとちょっぴり心配だったんですけれど、来てみてホ



石阪さん(20歳)「写真バロック音楽が好きで、音楽大学でフルートを勉強中という強中という石阪さんは「自分の住むまちにこんな合奏団ができてとてもうれしです。これからも、今日のようなみんなが楽しめるコンサートを定期的に開いていただきたいですね。ほんとは今日こへ来るまで、どれだけの人から来られるかなとちょっぴり心配だったんですけれど、来てみてホ

えられて私たちもとてもいい演奏ができたと思っています。演奏会というのは作曲家・演奏家・聴衆が音楽を通して一体になる場ですが、そういう意味で今日は本当にとってもいい演奏会だったと思います。これからも永く続けていき、市民の皆さんから愛される合奏団になりたいですね」

ールがいったいなので自分のことのようにうれしかったです」と心のときめきを語ってくれました。  
好評のうちに第一回演奏会を終りましたが、わたしたちの「ならチェンバーアンサンブル」の次の演奏会は今年のクリスマス前の12月25日の予定だそうです。

くになると体の消耗もたいへんでしようががんばってぜひご協力を。とくに若い健康な方たちにお願ひしたいですね。街で献血車を見かけたら、よろしく」と呼びかけます。  
なお八月中、市内では次の日程で街頭採血が行われますので、市民の皆さんもぜひ献血を。  
8月1日(土) 奈良ファミリー 10・00～17・00  
15日(土) JR奈良駅前 10・00～17・00  
16日(日) 奈良ファミリー 10・00～17・00  
22日(土) 近鉄学園駅前 10・00～17・00  
24日(月) 近鉄奈良駅西側 10・00～17・00  
27日(木) ユニード富雄店 前 10・00～17・00

「スポーツ振興に使ってください」と言っています。  
下水道処理区 市の域に八七戸 下水道工事が進み、このほどつぎの各町の一部八百七十一戸で浄化槽のいらない水洗便所が使えるようになりました。市内でこれまでの分と合わせて四万六千四百八十四戸が下水道の便益を受けることになりました。

## 愛の献血を皆さんへお願い

「あなたの愛の献血がかけがえない命を救います」  
七・八月は全国で「愛の血液助け合い運動」がくりひろげられています。市内でも計十二回の街頭採血が行われますが、そのトップを切って、七月四日に西大寺東町二丁目、奈良ファミリーで最初の採血がありました。この日は西田市長もかけつけ、買い物に訪れた人たちに協力を呼びかけました。自らも二百ccを献血した。この日は百六十六人の献血があり、うち十七人が四百ccの献血をしました。赤十字血液センターの大橋正代さんも「夏場はとくに献血量が落ち込むので、必要は変わらなないので暑液が大変不足してきます。暑

田中さんが 亡息の三回忌に 又百万円  
右京四丁目五〇の田中隆さん(48歳)が六月三十日亡息正雄さんの三回忌供養にと、市に百万円を寄付しました。  
正雄さんは昭和六十年四月、正強高校二年生当時、同校野球部の中心選手として県下高校球界から囑望されていたのに急逝されたもの。  
田中さんは六十年六月にも同じ趣旨で百万円を寄付され今回二回目。田中さんは

## 県庁に交通事故相談所

故から生じるあらゆる問題についての相談窓口として県庁に交通事故相談所が設けられています。相談はすべて無料で、電話相談にも応じています。  
とき 毎週月曜日・金曜日 午前八時半～午後五時、土曜日は午前八時半～午後零時半(祝日を除く) ▼とこ 県庁二階、県交通安全対策課内(登大路町、☎110) ▼法律上の相談 月・金曜日は弁護士による相談。

## 7月31日は 下水道事業 受益者負担金の納期限です

7月31日は 下水道事業 受益者負担金の納期限です

富雄南公民館

お菓子づくり教室 とき 8月2日(日)午前9時半〜午後1時

写生教室 とき 8月4日(火)午前9時半(東大寺南大門前集合)

市立図書館

夏休み子どもまつり とき 7月29日(水)

夏休み特別貸出し 7月21日〜8月29日は一人七冊までにふやします。

青少年児童会館

開館時間の変更 8月中は午前8時半〜午後5時15分

親子そろうって、自然の中でキャンプ

とき 8月1日(土)〜2

8・9月 市移動図書館巡回日程

市立図書館(高畑町)が遠隔地区へのサービスとして、移動図書館を巡回させています。

【駐車時間】A=午後0:30〜2:00、B=午後2:30〜4:00

巡回日程表: 巡回日、駐車時間、駐在所のリスト

富雄南公民館

子ども絵画・工作教室 とき 8月4日〜9月26日

子ども絵画・工作教室 とき 8月4日〜9月26日

一名公民館

子ども作法教室 とき 8月6日〜28日の毎週木・金曜日

子ども作法教室 とき 8月6日〜28日の毎週木・金曜日

子ども作法教室 とき 8月6日〜28日の毎週木・金曜日

夏季バドミントン大会

参加希望者は、はがきに参加者全員の氏名、年齢、住所、電話番号を書いて7月24日まで

消費生活モニター調べ

今月の調査では、天候の影響を受けやすい季節野菜の出回りが悪く、特にキャベツは高値となっています。

消費生活モニター調査表: 品目、規格と単位、平均価格、前回は、価格幅

〈モニター之眼〉

調査も2回目になると、お店の人も面識ができ、「はいどうぞ」と気持ちよく調査をさせてもらえます。

テニススクール

奈良市テニス協会がテニススクールをつぎのとおり開きます。

市民写生講習会

市美術家協会が開く市民写生講習会をつぎのとおり催します。

童話・民話など

希望者は、はがきに住所、氏名、年齢、電話番号を書いて法蓮町三三七、高瀬善明氏

### 結核住民検診

結核の早期発見をめざす市の住民検診(前期分)が次の日程で実施されます。結核は感染する病気で、まだ完全にはなくなっておりません。自分のため、またみんなのために、年に一度の検診は必ず受けましょう。みなさんの家の近くまで、レントゲン車が巡回しますので、ぜひ受診してください。レントゲン撮影はボタンや金具のない服装なら着たままで受けられます。受けられるのは15歳以上の人(中学・高校生、勤務者、妊婦は除く)に限ります。受診料は無料です。当日は保健婦も同行し、血圧測定のほか健康相談にも応じます。なお、後期分は来年2月実施の予定です。

地区	月日	時間	実施場所
田原	8.3 (月)	10:30~10:50	春日野町ポンプ庫前
		11:00~11:20	矢野原町見製茶工場
		11:30~11:50	矢野原町バス停
田原	8.4 (火)	1:00~1:20	田原連絡所
		1:40~2:00	南田原町中野商店前
		2:10~2:30	長谷町三栄共同製茶工場
田原	8.5 (水)	10:30~10:50	中之庄町消防庫前
		11:00~11:20	田原大野バス停
		11:30~11:50	日等町ポンプ庫前
田原	8.6 (木)	1:00~1:20	香掛町消防庫前
		1:30~1:50	此瀬町ポンプ庫前
		2:00~2:20	下野多林町井岡氏宅前
田原	8.7 (金)	2:30~2:50	須山町須山共同製茶工場
		10:30~10:50	水間町公民館
		11:00~11:20	水間町東山農協水間支所
東里	8.6 (木)	1:00~1:20	別所町公民館
		1:30~1:50	下柚ノ川町稲葉氏宅前
		2:00~2:20	上柚ノ川公民館
大柳生	8.7 (金)	2:30~2:50	中ノ川町公民館
		10:30~10:50	南庄バス停
		11:00~11:20	須川町東部農協東里支所
柳生	8.10 (月)	1:00~1:20	狭川両バス停
		1:30~1:50	西狭川町公民館
		2:00~2:20	下狭川町東部農協狭川支所
柳生	8.7 (金)	2:30~2:50	廣岡町バス停
		10:30~10:50	大慈山バス停
		11:00~11:20	忍原山公民館
柳生	8.10 (月)	11:30~11:50	大柳生町東部農協柳生支所
		1:00~1:20	大平尾分校
		1:30~1:50	阪原中央公民館
柳生	8.10 (月)	2:00~2:20	柳生公民館
		10:30~10:50	大保町バス停
		11:00~11:20	大保町尾根共同製茶組合
柳生	8.10 (月)	11:30~11:50	大保町東部農協柳生支所
		1:00~1:20	興ヶ原公民館
		1:30~1:50	興ヶ原公民館前
柳生	8.10 (月)	2:00~2:20	邑地町消防会館前
		2:30~2:50	丹生保育園
		2:30~2:50	北野山公民館

### 奈良の夏まつり

7月26・27日  
旧市庁舎跡地で  
古都奈良の夏の風物詩として親しまれている「奈良の夏まつり」が7月26日(日)・27日(月)に奈良の夏まつり実行委員会・市観光協会共催(県・市後援)で旧奈良市役所跡地(東寺林町)で催されます。

今年26日を「遷都の夕べ」、27日を「シルクロードの夕べ」として、OSK歌劇団の創作レビュー「シルクロード・ファンタジーPART3」の実演、シルクロード諸国(韓国・インドネシア・インド)の民族舞踊のほか、つぎのような華やかな出し物が予定されています。開演時間は26日は午後5時から、27日は午後5時半から。

「心身障害者・児のプールで楽しむつどい」が今年もつぎのとおり催されます。市内在住の心身障害者・児とその家族に楽しんでもらうもので、当日は送迎バスが運行されます。

とき 7月26日(日) 午前10時~正午(雨天中止) ▼  
ところ 平城ブルー(右京三丁目) ▼  
催し 水泳、スイカ割り、金魚すくいなど  
送迎バス ①奈良交通臨時便 ②JR奈良駅前午前9時20分発 ③杉ヶ中町バス停付近 ④高天町ドリムラン行きバス停付近 ⑤法蓮仲町バス停付近 ⑥ブルー②みどり号 ⑦近鉄西大寺駅北口 午前9時20分発 ⑧同あやめ

池原北口 同学園前駅南側 一鶴舞一丁目バス停付近 登美ヶ丘三丁目バス停付近 プール  
なお、当日はできるだけ電車、送迎バス等を利用してください。

**総合福祉センター**  
(左京五丁目三十一番地) 電話 〇七七〇番 MF 〇七七三  
国語教室 聴力障害者に手紙、実用文の書き方を勉強してもらいます。

とき 8月8日~11月28日  
毎月第二・四土曜日、午後6時半~8時半。ただし8月22日は同29日、10月10日は同17日に実施 ▼  
受講料 無料 ▼  
定員 15人 ▼  
申し込みはがきに住所、氏名、年齢、電話番号を書いて7月31日までに同センターへ(電話・ミニファックスでも可)。応募者多数の場合は抽選。

**YOU・遊・シルクロード**  
奈良青年会議所が  
来夏開かれる「なら・シルクロード博」を盛り上げようと、奈良青年会議所が「YOU・遊・シルクロード」をつぎのとおり催します。

とき 8月8日(土) 午前11時~午後5時。雨天決行 ▼  
ところ 池遊園地 ▼  
入場料 大人・子ども共三百円(遊園地入園料も含む)。前日までに青年会議

品をつぎの通り募集します。応募資格 市内在住の心身障害者・児 ▼  
作品種目 絵画、写真、書道、工芸、手芸(いずれも一人一点) ▼  
搬入 9月3日~6日(午前9時~午後5時)に直接会場へ。

**障害者作品展** 今年も  
の作品を募集 10月1日~6日の間、県文化会館(登大路町)で「県心身障害者・児作品展」が開かれます。いま展示作品をつぎのとおり募集しています。

応募できる人 県在住の心身障害者・児 ▼  
作品種目 絵画、写真、書道、工芸、手芸、コンピュータタイプアート(縦1・2枚、横1・8枚、奥行1・5以内)。

「母と子の夏休みの集い」をつぎのとおり催します。

とき 8月2日(日) 午後1時~4時 ▼  
ところ 奈良ドリムランドブルー ▼  
参加者 幼児・小学生の子と母親(必ず同伴) ▼  
申し込みはがきに住所、母子の氏名、「夏休みの集い参加」と書いて7月30日までに必着で母子福祉センター「母と子の家」(西木辻町、電話 二五五二)へ。

実施。対象児は昭和62年1月生まれ。身長・体重の測定、診察、問診、育児・栄養の指導。

該当児には問診票を送りますが、7月1日以降の転入者やその他の事情で届かなくても直接来てください。日程はつぎのとおりで受付時間は午前9時半~10時半。母子手帳をお忘れなく。

【市保健センターで】  
8月3日(月) 鼓阪・済美南  
・大安寺西・富雄第三・三  
・東市各校区  
同4日(火) 飛鳥・都跡・神功・鳥見各校区  
同10日(月) 済美・大安寺・椿井・伏見・田原・あやめ池各校区  
同17日(月) 大宮・相和・精華・富雄北・柳生・大柳生各校区  
同24日(月) 明治・鼓阪北・辰市・富雄南・右京・西大寺北各校区  
同25日(火) 佐保・六条・帯解・平城・朱雀・伏見南各校区

【西部公民館で】  
8月27日(木) 鳥見・富雄北・富雄南・あやめ池・鶴舞・青和・二名・登美ヶ丘・東登美ヶ丘・富雄第三・平城西・三雄各校区

【市保健センターで】  
7月30日(木) 鼓阪・飛鳥・済美・椿井・佐保・大宮・神功・朱雀各校区  
8月6日(木) 都跡・六条・大安寺・平城・伏見・辰市・精華・大柳生各校区  
同20日(木) 東市・明治・帯解・右京・田原・柳生・相和・西大寺北・大安寺西・済美南・伏見南・鼓阪北各校区

**親子家庭のプールでの集い**  
母子家庭のお母さんと子どもたちに、夏休みの一日を心ゆくまで楽しんでもらうようと、市母子福祉センターが

**税金の作文** 大阪国税局が募集 税関が中学生・高校生から「税に関する作文」をそれぞれ次のように募集します。

小学生は9月21日まで、中学生は9月5日まで、高校生は9月5日までに奈良税務署(登大路町、電話 〇一〇一)へ。中・高校生ごとにそれぞれ全国審査のうえ、入賞作品には賞状・副賞があります。

**1歳6カ月児に健康診査**  
妊産婦歯科健診も  
市保健センター(二条大路)

**奈良保健所**  
(西木辻町) 電話 〇六一七(一)

幼児の歯科検診と虫歯予防教室 2~3歳児とその保護者を対象に歯科医師・歯科衛生士が検診、相談に当たり、歯みがき指導もします。

7月30日(木) 午前10時~正午。定員は三十組。希望者は7月20日~25日に電話で申し込んでください。母子手帳、歯ブラシ、コップなど持参。